

民生委員・児童委員 たより



2022年8月16日発行

第34号

発行 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
編集 連合会広報部
亀山市羽若町545(総合保健福祉センター内)
☎0595(82)7985

民生委員児童委員協議会連合会全体研修会を開催(令和4年6月29日)

『大人の福祉教育のススメ ～さまざまな体験から理解を深めよう～』

見て、聞いて、体験して、納得!!

西野公園体育館において、体験型の研修会を行いました。アイマスクをして点字ブロックの上を歩いたり、マットを路上の障害物に見立て、車いすに乗って進んだり、毛布と竹の棒で作った担架に乗る人と運ぶ人に分かれ、交代しながら人が搬送する体験をしました。また、東日本大震災の救援活動での映像やお話を聞いたり、聴覚障がいの方の生活の中で困ったことやどんな工夫をすればいいかなどについてのワークショップを行いました。

実際に体験してみて、支援される方の不安を安心に変えるために、その時々での私たちの声掛けの必要性を感じました。



また、障がいのある方大変さや悩みを感じ取る私たちの感性を磨くことが大切であることを学びました。

異常気象から来る風水害やいつ起きるかわからない大地震などの災害時に備え、日頃から地域の方と一緒に、命を守るための取り組みの必要性を感じた研修会でした。

今年度も、地域の守り手として、ウィズコロナに対応した活動を!!

新型コロナウイルス感染症の収束には、まだまだ先は見えませんが、生活様式や人との繋がり方は、大きく変化しました。相談内容も多様化しています。こんな時こそ、地域とのパイプ役である民生児童委員、主任児童委員の役割が重要だと感じています。

新型コロナウイルス感染症予防対策をしながら、身近な相談相手として皆さんに寄り添った活動を心掛けます。心配な事、困った時には、何なりとご相談ください。

亀山市民生委員児童委員協議会連合会会長 小林 智子

表彰

永年の功績が認められ、民生委員・児童委員 小林智子さん、主任児童委員 宮崎道子さんが、三重県民生委員児童委員協議会会長表彰を受賞されました。
益々のご活躍をご期待申し上げます。

各地区の活動紹介



配食活動を行いました

2月20日(日) 野登地区福祉委員会では福祉委員と民生児童委員、主任児童委員で「75歳以上のひとり暮らしの方への配食活動」を行ないました。毎年の恒例行事となっていますので心待ちにしてくださる方もいらっしゃいます。人と人との繋がりが疎遠になっているコロナ禍です。活動を通じてお顔を見て、お声をお聞きする事で安心につながる事を改めて感じました。これからもコロナへの対策を取りながらこの行事を引き継いでいきたいと思っています。 野登校区 内田 秀美



視察研修会で学んだこと

6月22日(水) 北部地区の民生児童委員15名は京都市市民防災センターで災害時に必要な防災知識や行動について学んで来ました。地震発生時の心構えと日頃の備えが出来ていない私は震度4以上の地震を体験して、机の下には潜れたけれどパニック状態となり頭がクラクラしました。



土砂災害は迫力があり、地下街の水害の恐怖、普段経験できないホテル火災で煙の中での避難行動、最後は消火器を使った消火訓練。

身を守る知識はもつことができましたが、果たして行動ができるのでしょうか？

家庭でも避難場所、避難経路、安否確認方法を決め、非常持ち出しを準備したり、家具が転倒しないよう備えたいと思います。また災害時には小さな子どもや高齢者のための備えも大切だと感じました。皆さんも日頃から防災に関する知識を身につけるため防災訓練に参加し、災害が発生しても慌てないようにしていきましょう。いざという時のために… 川崎校区 田辺 洋子



関地区で活動している民生児童委員の声

■ これまで地域自治会活動では多くの役柄を経験し、その都度自助はもとより共助・公助と多くの人々に助け支えられて参りました。過疎と高齢化が進む我が地域で、既に70歳を過ぎた高齢者の身で地域の民生児童委員をお引き受けし、少しでも地域のお役に立てればとの思いで活動をするに当たり、改めてその目的でもある、支え合う住みよい社会地域からをスローガンに、関地区民生委員児童委員協議会を22名の委員で運営する中で、多様な研修会を通じて必要な知識や技術の習得など図ってきております。いつも誰もが安心してそこで生活できる手助けをと思っています。(K.E.)

■ 主任児童委員をさせていただいて、6年目になりました。たくさんの方と出会い、話をさせていただくことができました。日々の見守りの時のあいさつの声が大きくなったり、初めて出会ったときは就学前だったお子さんが小学校へ元気に通学されたり、高学年になった子が下の学年の子をサポートするなど成長する姿を間近で見ることができ、とてもうれしくやりがいのある毎日です。(K.K.)

■ 令和元年12月民生児童委員の委嘱を受けた時とほぼ同じ頃からコロナ禍が始まり、いろんな活動ができないまま2年半が経過しました。その中で継続して取り組めた活動は定期的な高齢者世帯への訪問や子ども達の登下校時の見守り活動でした。朝の挨拶運動では恥ずかしそうに挨拶してくれた高学年の小学生は中学生になり、新しい小学1年生は無邪気な笑顔をみせ元気に挨拶してくれます。

また、2年前はお元気だったひとり暮らしの高齢者の認知症などの進行が進み介護施設へ入所される方が多くなり、空き家が増えてきたのは寂しい限りです。早くコロナ禍が収束し、本来の「支援へのつなぎ役」として活動ができればと思います。(H.S.)





小学校を訪問しました

小学生の子ども達に伝えたい
民生児童委員の役割と活動の様子

6月初旬、小学校の6年生の教室に西部地区の民生児童委員、主任児童委員が分担して出向き、紙芝居と西部地区で作成したDVDを使って民生児童委員の活動と役割についてわかりやすく伝え、理解を深めてもらいました。

各学校のどのクラスも、子ども達はとても熱心に授業に参加し、紙芝居「山田のじいちゃんはみんなマン」やDVD「みんないいんって？」を視聴したり、顔見知りの民生児童委員が登場すると表情が和み、画面を指さして親しみを感じている様子が見られました。

その姿に民生児童委員も心が和み、共感を覚えるとともに、未来を担う子ども達を頼もしく感じたひと時でした。

この子ども達の中から「将来は私も民生児童委員になる！」という人が出てくることを願って学校を後にしました。



小学校訪問活動スケジュール

- 6/1 神辺小学校
- 6/6 亀山西小学校
- 6/9 亀山西小学校
- 6/10 白川小学校



つないで、みんなで考える

民生児童委員として活動し始めてから早くも2年半が経ちました。そして、この2年半は民生児童委員とは何なのかを日々自分自身に問い続けてきました。

民生児童委員の主な役割は「つなぎ役」とも言われます。確かに振り返ってみれば、これまでに様々な人との出会いや活動を通して、「つなぐ」という場面を度々経験させていただきました。また、この2年半はコロナ禍とも重なり、人と人が「つながる」ということの意味を改めて考えさせられたようにも思います。

誰もが日々の暮らしの中で、困りごとや相談ごとがあったとき、いつでも何でも自分ひとりで全て解決出来ることばかりではないかも知れません。その時々の内容や状況によっては、誰かの支援が必要になる場合もあると思います。しかし、ケースによっては、自から支援を必要としていることを上手く伝えることが出来なかったり、どこに支援を求めれば良いか知らなかったりすることもあるでしょう。また、相談すること自体をためらっている場合もあるかも知れません。

今年の年明け早々のことでした。三回目のワクチン接種や給付金の案内が該当家庭に配布されて間もなくの頃、「接種の予約方法」と「接種会場までの移動」についての相談ごとが2件続けてありました。1件目は高齢ひとり暮らしの方、2件目は重度身体障がいのある方の相談。このときは2件ともに本人さんからではなく、第一報はその友人さんからのものでした。幸いにも、この2件ともに本人さんが普段から身近な誰かと「つながっていた」から、私もスムーズに連絡を受け取ることが出来、その後、家族や関係機関へも「つなぎ」解決に向け動き出すきっかけとなりました。

ひとりの民生児童委員に出来ることは、本当に小さなことかもしれません。しかし、小さな気づきに耳を傾け、一人ひとりに寄り添い、より良い解決の方向へ向けて、みんなで考えることが出来るように、「つないでいく」ことが民生児童委員活動の基本なのだと思って過ごす毎日です。

舟橋良治



主任児童委員は地域の子育て応援団

主任児童委員は市内の小学校区を単位として子育ての支援や地域の児童、生徒の健全育成につながる活動をしています。

今年度からは子育て支援センターを訪問しています。5月13日に訪れた「あいあいっこ」、「あすれっこ」では子どもたちが支援センターの先生やお母さんたちに見守られ、安心して遊ぶ姿が見られました。また、お母さんたちからはいろいろなお話や相談などを聞くことができ、お母さん同士のつながりの場にもなっていると感じました。



亀山子育て支援センターあいあいっこ



関子育て支援センターあすれっこ

子育て支援センターは、子どもたちも友達とふれ合える場、保護者の方も保護者同士集まり合える良い場であります。



私たちも子育て支援センターに訪問して子どもさんたちと遊んだり、保護者の方とおしゃべりができることを楽しみにしています。気軽に声をかけてください。

各地区の主任児童委員



地 区 (小学校) (中学校)	氏 名
西部地区 (亀山西・神辺・白川小学校) (亀山中学校)	大杉 美紀 上村 孝典
関 地 区 (関・加太小学校) (関中学校)	倉田 圭子 田中 愛子
中部地区 (亀山東・亀山南・昼生小学校) (亀山中学校)	宮崎 道子 田邊 弥生 松尾 みち子
北部地区 (井田川・川崎・野登小学校) (中部中学校)	植田 明子 佐久間 茂子 佐藤 典子

※ご相談は地区にこだわっていただくなくてもかまいません。

お 知 ら せ

令和3年度、民生児童委員、主任児童委員の役割や活動内容をお伝えするために、『あなたのくらしに寄り添う民生委員・児童委員、主任児童委員』と題した動画を作成いたしました。YouTube亀山市社会福祉協議会【公式】チャンネルにて配信



かめやま防災ネットワーク

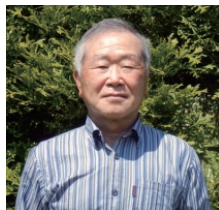
(防災ボランティア団体)



～災害に備えて、今、私たちにできること～

自然災害は忘れた時に突然襲ってきます。災害を無くすことは出来ませんが、被害を減らすことは日頃の備えを十分に行うことで出来るはずです。

そこで今回、いつ、どこで起こるかわからない災害に備え、日頃から市民の皆さんに防災の啓発活動に取り組んでいる「かめやま防災ネットワーク」様に啓発活動の内容や実際に災害が起こった時に活用できる防災についてご紹介して頂きました。



初めまして、会長をしております近藤保行です。よろしくお願いします。

私達の「かめやま防災ネットワーク」の活動など紹介いたします。

2007年4月に設立、みえ防災コーディネーターの研修を受け、防災士の資格を持ったメンバーが市の危機管理局と協働企画として「市民の防災啓発」事業として設立された団体です。活動は、「まちづくり協議会」「自治会」「小学校」「放課後児童クラブ」様などで出前講座を実施しております。活動内容の一部を紹介しますので、防災啓発のためお声を掛けてください。

- ① **HUG(避難所運営ゲーム)** 災害時にあなた自身が避難所の運営担当としてどのように避難者を誘導し、避難所をどのように運営するかの模擬ゲームです。

下庄自治会様



川崎地区
まちづくり
協議会様

- ② **クロスロードゲーム(YES・NO選択ゲーム)** 避難者(大人:男性40人、女性40人、子ども:20人)がいますが、食料50人分届きました。あなたはどうか対処しますか。などの課題を即断するゲームです。[条件により正解が変わるため考えを議論するもの。正論なし]
- ③ **目黒巻(時間経過行動ゲーム)** 災害発生後、あなたの行動は、30秒・3分・10分・1時間など、自分自身の行動を具体的に記入することで「自身の行動を見直す」ゲームです。
- ④ **タウンウォッチング** 地域の避難経路や通学路などを歩いて「危険箇所」「安全場所」を調べて防災マップ・通学路マップなど皆で作りに上げるゲームです。
- ⑤ **防災グッズ作成講座** 新聞で作るスリッパ・ゴミ箱、ゴミ袋で作る防寒着・ポンチョ、ラップの活用方法(皿、手袋、包帯など)。風呂敷で作るリュックや各種包装方法など。

《活用できる防災の数々》

けが人の運び方

活用できる資器材がないとき



- 重症のけが人には適しません。
- 長い距離は搬送しないようにして、最小限の距離にしましょう。
- 進むときは足側から、上り坂は頭側から進みます。

着衣で担架をつくる

着衣の利用



- 物干し竿2本とトレーナーなど4～5枚で応急的な担架が作れます。
- 搬送する際は、できるだけ多くの人で搬送しましょう。

畳を利用



- 畳を使ってけが人を搬送することもできます。

椅子を利用する

搬送者が椅子の左右につく場合



搬送者が椅子の前後につく場合

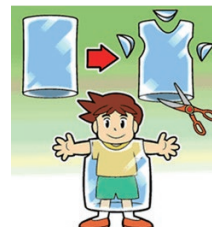


- 必ず背もたれ付き椅子を利用しましょう。

新聞スリッパ



防寒着



ゴミ袋で作るポンチョ



【お問合せ、出前講座のご依頼はこちらまで】 連絡先 090-7033-2722 yk1949@coffee.ocn.ne.jp

お元気さん紹介

今回ご紹介するのは、
関地区のお元気さんです。



関町沓掛にやまうち お住まいの 山内よしゑ さん(96歳)

元気の秘訣は、好きなことをする事。花、野菜を育て、庭木の手入れもしています。手作り料理をご近所さんにあげたりもします。元気に生活している事で地域の手本になりたいです。



関町久我にまつむら ゆきお お住まいの 松村 幸夫 さん(90歳)

元気の秘訣は、毎日、畑仕事を頑張る事です。また、テレビの相撲観戦も楽しみの1つです。週に1回、ディサービスにも出かけています！



取材 2022年5月

次号は中部地区のお元気さんです。

元気な子どもたち!! 【子ども見守りパトロール隊との交流会】

野登小学校の児童たちは毎年12月になると「子ども見守りパトロール隊」の方々を学校に招き交流会を開催しています。

これは毎日児童たちが安全に安心して学校に通えるように、登下校時に地域の方々がボランティアで見守り活動を行っており、それに対して感謝の思いを伝え親睦を深める活動です。

児童自ら一人一人にハンドマッサージや肩もみを丁寧に施し、感謝の思いを伝える「お礼の歌」を歌ったり、また楽しいゲーム等をして親睦を深めています。

見守り隊の方々も児童たちの明るく元気な姿にとっても元気をもらい楽しい時間を過ごし、毎年楽しみにしています。

しかし、この交流会も残念ながら昨今のコロナ禍により2年間中止となっており早く再開出来る事を待ち望んでいます。



編集後記

広報部では民生児童委員、主任児童委員の活動紹介を通じて、老若男女問わず市民の皆様にも暮らしに役立つ情報を分かり易くお届け出来る様に心がけております。

今回、新たな取り組みとして主任児童委員の活動紹介をはじめ【元気な子どもたち!!】と題し、子どもたちが日頃から地域との関わりをもつ中で、様々な活動に元気に取り組んでいる様子をご紹介させて頂きました。

また「かめやま防災ネットワーク」様には、防災の啓発活動の内容や実際に災害が起こった時に活用できる防災についてご紹介して頂き、皆様の災害から身を守るための「備え」として役立てて頂ければと思います。最後に原稿作成や取材に協力して頂いた皆様には心より感謝申し上げます。